

2020年2月10日

釜ヶ崎講座

大阪市港郵便局私書箱 40 号

大阪市西成区萩之茶屋 1-9-7

釜ヶ崎日雇労働組合気付

事務局 090-2063-7704

Mail kamakouza@cw02.bai.ne.jp

<http://cwoweb2.bai.ne.jp/kamakouza>

<http://blogs.yahoo.co.jp/kamagasakikouza>

郵便振替 00940-1-132778

会員、読者の皆さん、去年は釜ヶ崎講座へのカンパ、その他でのご支援、ご協力大変ありがとうございました。紙面を借りまして厚く感謝申し上げます。今年も釜ヶ崎講座、役割を十分果たせるべくがんばりますので、皆様の変わらぬご支援宜しく願いいたします。

1. 第16回釜ヶ崎講座学習会開催のお知らせ

テーマは「性的少数者について」

～にじいろ家族に込めた思いと共に～

今回は西成でも幅広く活躍されている(株)にじいろ家族の梅田政宏さんを話題提供者としてお招きします。「LGBT(レズビアン・ゲイ・バイセクシュアル・トランスジェンダーの頭文字をとった略称)とは何か」をベースにしながら梅田さんに語っていただきます。「LGBT」は昨今、世間の誤解・偏見の中で認知を獲得しつつ、国民的関心事・課題にな

りつつあると考えます。性的少数者、性同一障がいを中心とする問題認識を深め、釜ヶ崎からの発信の1つの柱である共生社会の実現とは何かを皆さんと一緒に考えてみることにしました。梅田さんの主宰する「にじいろ家族」は近年、釜ヶ崎でその行動と主張を夏祭り、越冬闘争を軸に実行委員会に賛同・結集しながら進めておられます。釜ヶ崎はご自分たちにとって大変活動しやすい場所と言っておられます。その梅田さんとの関わりで私達釜ヶ崎講座代表の渡邊さんが数年前から今回の学習会の実現を提起し、今日実現することになりました。皆さんの来場をお待ちしております。

- ・ 話題提供者 梅田政宏 (株) にじいろ家族
- ・ 開催日時 2020年3月7日(土) PM6時30分開演
- ・ 会場 西成プラザ(西成区太子1-4-2太子中央ビル3階)
JR新今宮駅東口 徒歩2分、地下鉄動物園前駅6番出口から徒歩1分。堺筋沿いに信号を渡って南側へ渡ってすぐ右手
- ・ 資料代 500円

主催 : 釜ヶ崎講座

これより以下は昨年暮れより新年へ向けて取り組まれました「第50回釜ヶ崎越冬闘争」の報告と昨年12月14日にエル大阪を会場にして開催されました「第25回釜ヶ崎講座講演のつどい」の様子を報告させていただきます。

2. 年末より年始にかけて第50回釜ヶ崎越冬闘争が すべての人の団結で打ち抜かれる

～今回の越冬闘争期間中で「臨泊」利用者は328名、年末・

年始にかけセンター周辺を中心に100名以上の仲間が野宿の現実。一方センター問題では2025年総合センター完成へ向けての労働者・住民主体による使い方・要望の方向押し出す取り組み・議論が熱帯びる～

皆さん、50回目の釜ヶ崎越冬闘争が今回も戦い抜かれました。そこに住み暮らす、あるいは流れ着いた労働者にとっては厳寒と飢えに行政の無策も重なり、まさに生きるか死ぬかの瀬戸際の「闘い」、「闘争」です。2019年12月28日多くの支援の仲間も駆けつける中、「越冬突入集会」が開催され、仲間を守る野営陣地、人民パトロール、医療パトロール等の万全のサポートの中、明けて1月6日の対市・府への要望書要請行動まで仲間の命を守る行動を1人の凍死・餓死者も出さずに貫徹できました。しかし一方ではこうした取り組みを何十年もさせて黙視を決め込む行政の無策ぶりも存在し続けているわけです。また今越冬の特徴の別のひとつに2025年供用開始をめざすセンター問題の議論がありました。今の閉鎖された旧センター跡地利用を含めた釜に暮らす、釜を頼る労働者・住民の使い勝手の良い総合センターを求めての議論の場、宣伝の場が1月2日(70名以上の参加者を集めた討論会の開催)を中心とした取り組みとして行われました。これらの準備もふくめた行動は「センターの未来を提案する行動委員会」をメインとした越冬実行委員会がてがけました。このような課題の中、今年も釜ヶ崎では人が安心して住み暮らせる釜ヶ崎を目指す諸団体・グループの多様な運動が継続・展開されていくものです。皆さん、今年も釜ヶ崎に大いに足をお運びください。最後になりましたが、今回も釜ヶ崎講座は年末30日の「連帯行動」、新年3日の釜歩きツアーを行い、延べ25名以上の参加をいただきました。感謝いたします。いつも水先案内人を引き受けてくださる水野阿修羅さん、コクルームでのトイレ休憩では釜ヶ崎の魅力を宣伝してくださる上田加奈代さん、ありがとうございます。今年も釜ヶ崎講座は釜歩きツアーをはじめ、学習会・講演のつどい等、取り組んでまいりますので宜しくお願いいたします。

3. 第25回釜ヶ崎講座講演のつどい開催される。

～農福連携と産消提携の先進事例に学ぶ。釜ヶ崎での仕事づくり

集中講座5、農業分野の仕事づくりを釜ヶ崎で～をテーマに70

名の参加で討論。

皆さん、上記テーマによる「釜ヶ崎講座第25回講演のつどい」が大阪中央区のエルおおさか南館1023号室で開催されました。皆さんもご存知かとは思いますが講座は昨年来よりNPO釜ヶ崎支援機構との提携で過去4度にわたり釜ヶ崎での仕事づくりの課題をあつかってまいりました。今回は初の農業分野での先進的な取り組みの紹介でした。埼玉県熊谷市より新井利昌さん（埼玉福興株式会社・代表取締役）、神奈川県藤沢市より小島希世子さん（株式会社えと菜園代表取締役、NPO農スクール代表理事）のお二人に遠路お越しいただき、近隣住民と、また就労困難の種々の課題をかかえる人々との農への結合のたゆまぬ、そして苦勞と喜びを伴うお話をして頂きました。またお二人の講演にさきがけて今回テーマの発案者でもあり、今回企画のサポートもして頂いた大阪市立大学の綱島洋之先生の報告、並びに釜ヶ崎とゆかりのある近畿一円の農業実践事例の報告がありました。綱島さんはすでに釜ヶ崎と農労働との結びつきの実践者でもあり、その体験をもとにした農と釜ヶ崎労働者の今後の結びつきを語られました。講師の新井さん、小島さんは長年の現地の特色に密着した農労働を通じての人との結びつきの過程をリアルに語られました。

釜ヶ崎講座は今後もこうした取り組み経験を生かして釜における仕事づくりに貢献できればと考えております。各講師の皆さん、当日参加して頂いた皆さん、ご苦勞様でした。また当日は参加者の質疑討論時間が十分確保出来ず、申し訳ありませんでした。

（以上この項おわり）

◆ 事務局からお知らせ

いつも釜ヶ崎講座へのカンパのご支援、厚く感謝申し上げます。釜ヶ崎講座の活動はみなさまのカンパにて運営させて頂いております。振込用紙を同封しておりますので宜しく願いいたします。

以上

